

# つわの彩時記



# 春

Spring

桜舞う春 駆けぬける 勇者たち

山陰の小京都と呼ばれる津和野のまち。城下町として七百年を超える歴史を誇るこのまちには、いにしえから受け継がれてきた祭りや伝統文化が今も豊かに息づいています。小京都・津和野の四季折々の彩時記の世界へ。

流鏝馬神事（鷲原八幡宮）



田植え囃子



SLやまぐち号



乙女峠まつり



殿町通り 堀割り

## まつり彩時記

山々から流れでる川の水が温み始めると、桜の季節。吉見氏によつて永禄十一年（一五六八年）に勧請された鷲原八幡宮では、日本で唯一往時の形をほぼ完全に残す流鏝馬馬場で「流鏝馬神事」が行われます。騎馬武者姿の射手たちが矢を放ち、桜舞う馬場を駆け抜けていくと、やがて新緑の季節。明治時代に弾圧されたキリシタン殉教者の魂を慰める「乙女峠まつり」、五穀豊穡を願う太鼓谷稲成神社の「春季大祭」へと続きます。六月になると殿町通りに花菖蒲が咲き、掘割を群れ泳ぐ鯉と白壁の見事なコントラストをつくり出します。

- 鷲原八幡宮流鏝馬神事（4月第2日曜日）  
日本で唯一流鏝馬馬場が残る鷲原八幡宮で行われる神事
- 乙女峠まつり（5月3日）  
キリシタン殉教者を慰める乙女峠まつり  
殿町の教会から乙女峠までマリア像を担いだ信者たちの列が続く
- 太鼓谷稲成神社春季大祭（5月15日）  
五穀豊穡・商売繁昌を祈願する太鼓谷稲成神社の祭り
- ホテルバス（6月10日～25日）運行予定  
ゲンジホテルの里部栄地区へ、ホテル観光のためのバスが運行される





輪くぐり神事



鮎まつり花火大会

- 輪くぐり神事 (6月30日)  
茅(チガヤ)の輪をくぐり、無病息災を祈願する弥栄神社の祭事
- 祇園祭 (7月20日・27日)  
国の重要無形民俗文化財「鶯舞神事」。山陰の小京都津和野を象徴する優雅な夏の風物詩
- 津和野町夏まつり 鮎まつり花火大会 (8月15日) 開催予定  
日原地区の高津川河川敷で行われる花火大会
- 盆踊大会 (8月15日)  
殿町通りで県無形文化財「津和野踊り」が優雅に繰り広げられる
- 津和野町夏まつり つわの鯉・恋・来いまつり (7月下旬～8月上旬の1日)
- 灯籠流し (8月20日)  
津和野川を流れる色とりどりの灯籠が亡き人を偲ぶ情緒あふれる夏の風物詩

まつり彩時記



県指定文化財「津和野踊り」



夏 Summer

小京都の夏を彩る 白鷺の舞

津和野の夏は「祇園祭」で始まりま  
す。祇園祭を象徴する鶯舞は天文十一  
年(一五四二年)に山口から移したこ  
とに始まり、正保元年(一六四四年)  
に亀井氏が命じて発祥の地の京都から  
改めて伝習し、今日まで受け継がれた  
もの。七月二十日の「渡御」、二十七

日の「還御」で披露されます。八月は  
祭りの季節。ふるさとを想う帰省客で  
賑わう「鮎まつり花火大会」や「つわ  
の鯉・恋・来いまつり」。盆には「津  
和野踊り」が行われます。  
灯籠流しが終わる頃、季節は秋へ…。

国指定重要無形民俗文化財  
「鶯舞神事」(弥栄神社)



# 秋

Autumn

紅葉に華やぐ  
錦秋の里



国指定名勝「旧堀氏庭園」



日原奴道中



石見神楽



芋煮と地酒の会

ブナ林を黄色に染める秋。やがて秋は山から里へ下り、「天領の里」と呼ばれる国指定名勝「旧堀氏庭園」を見事な錦に織り上げていきます。笹ヶ谷銅山は、江戸時代銅を産出し、幕府直轄地として大森銀山の支配下にあった地。堀家はその銅山年寄役を務めた名家で、趣きのある庭園などに当時の隆盛がしのべられます。また、江戸時代の津和野を彷彿とさせる祭りといえば「奴道中」。参勤交代の儀式を古式豊かに今に伝えます。また、石見地方は神楽の里。各社中が勇壮華麗な舞を披露し合うと、間もなく冬が巡ってきます。

- にはら星祭り (9月～11月)  
星座や星雲の観測会、中秋の名月を眺めながらの野点やコンサート等が行われる
- 日原奴道中 (10月第2日曜日)  
日原天満宮大祭に行われる古式ゆかしい奴道中
- 芋煮と地酒の会 (10月第3日曜日)  
津和野の郷土料理芋煮を地酒と一緒に味わう会
- 太鼓谷稲成神社秋季大祭 (11月15・16日)  
豊年を感謝し、繁栄開運厄除を祈願する祭り
- 青原奴道中 (10月20日に近い日曜日)  
青原天満宮大祭に行われる青原地区の奴道中
- 津和野奴行列 (11月23日に近い日曜日)  
松林山天満宮大祭に行われる奴行列

まつり彩時記





冬の味覚 シシ鍋(ポタン鍋)



太鼓谷稲成神社歳旦祭

まつり彩時記

- 歳旦祭(1月1日)  
太鼓谷稲成神社の歳旦祭
- 初午祭(2月初午の日)  
五穀豊穣・商売繁昌祈願の太鼓谷稲成神社の祭り
- 初市(3月10日・20日・28日)開催予定  
津和野に春を告げる今市通りの初市。  
10日は「苗木市」、20日は「種いも市」、  
28日は「ひいな市」。

五穀豊穣の秋が過ぎると津和野路には一気に冬の足音が近づいてきます。雪化粧をまとった津和野は、山水画のような幽玄の雰囲気醸し出しています。また、空気の澄み切ったこの時期は絶好の天体観測シーズンでもあります。天文台でオリオン座に代表される冬の星座を眺めて、遙かなる宇宙へ思いを馳せるのもいいでしょう。新酒の仕込みが始まり、新年を迎えた太鼓谷稲成神社が初詣で賑わう一月がすぎ、五穀豊穣を祈る稲成神社の初午祭が行われます。



降りそそぐ雪 白銀の森へ

冬  
Winter

日原文天文台雪景色